

電力エネルギーにおける 技術革新

— 東日本大震災を踏まえ加速すべき新技術 —

開催趣旨

科学技術交流フォーラムは、東京大学産学連携協議会会員企業等を対象として、東京大学研究者が研究成果や「知」を発信する「産学出合いの場」を提供してきました。

東日本大震災後最初のフォーラムとなる第 21 回は、現在のエネルギー問題解決に向けて実用化を急ぐべき新技術をテーマとします。

現在、日本は転換点を迎えており、特に電力エネルギー分野は大きな試練に直面しています。これまで進められてきたエネルギー戦略の見直しを図りつつ、長期的な視野で検討されてきた未来志向の技術に光を当て、実用化への時間軸を短縮することが喫緊の課題となっています。この危機を克服し、未来への礎を築くため、東京大学は加速すべき技術革新にむけて産業界と大学の力を結集することを提案します。

本フォーラムでは、需給バランスの総合的管理、エネルギー利用の高効率化、未利用エネルギーの活用、低炭素化戦略など、重要課題に係る新技術を取り上げ、現状と将来への可能性について議論を深めたいと思います。これらの革新的技術の実現を目指すには産学官の連携が不可欠です。本フォーラムを契機として、具体的な連携にむけて学際的・業際的な検討が展開され、課題解決に向けて共に歩みを進められることを期待します。

日時 **2011年10月12日(水)** 13:00~17:00 (交流会 17:20~19:00)

【フォーラム】東京大学 小柴ホール 本郷キャンパス 理学部 1号館2階

【交流会】東京大学 山上会館1階 談話ホール

東京都文京区本郷 7-3-1

※ 前回と会場が異なりますのでご注意ください。

主催 東京大学産学連携本部

参加定員 170名/事前申込制 (申込はホームページで、先着順)

参加費 フォーラム：無料/交流会：3,000円

申込締切 10月5日(水)

申し込み & 問い合わせ先 東京大学産学連携協議会運営本部事務局 (東京大学産学連携本部内)

<http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/jp/event/forum/index.html>

本フォーラムは、文部科学省「イノベーションシステム整備事業 (大学等産学官連携自立化促進プログラム)」の支援を受けて開催するものです。



電力エネルギーにおける 技術革新

— 東日本大震災を踏まえ加速すべき新技術 —

プログラム

- | | |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00 ~ 開会挨拶 | 保立 和夫 (東京大学産学連携本部長) |
| 13:05 ~ 挨拶 | 松本 洋一郎 (東京大学理事・副学長) |
| 13:10 ~ 講演 1 | 日本型スマートグリッドの構築
— わが国の特徴を活かした次世代送配電システムの早期実現 —
横山 明彦 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授) |
| 13:45 ~ 講演 2 | 高性能蓄電デバイス開発に向けた革新的基盤研究
水野 哲孝 (東京大学大学院工学系研究科教授) |
| 14:20 ~ 講演 3 | 固体酸化物形燃料電池 (SOFC) の高信頼性・高効率化
に向けた要素技術開発
鹿園 直毅 (東京大学生産技術研究所教授) |
| 休憩 | |
| 15:15 ~ 講演 4 | 熱電発電の実用化の可能性と高効率化につながる新材料
開発
木村 薫 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授) |
| 15:50 ~ 講演 5 | 高変換効率を実現する革新的太陽電池技術
岡田 至崇 (東京大学先端科学技術研究センター教授) |
| 16:25 ~ 講演 6 | 東日本大震災以降の日本のエネルギー政策と
低炭素化施策について
松橋 隆治 (東京大学大学院工学系研究科教授) |
| 17:00 ~ 閉会挨拶 | 寺澤 廣一 (東京大学産学連携本部産学連携研究推進部長) |